

企画特集

[長州ファイブの挑戦 新時代を求めて]

②井上勝／鉄道の父、小岩井農場創設

成長続け国内最大の規模に
「開発で失った美田 開墾で埋め合わせ」



早朝、牛が放牧された。牛舎の背後には創業時に植えられた防風林が広がる＝岩手県雫石町の小岩井農場で

岩手県のほぼ真ん中。岩手山を背に広さ約3千ヘクタール、国内最大規模の小岩井農場が広がる。山口県から遠く離れたこの農場の創設に、「鉄道の父」と言われた井上勝が深くかかわっていた。

「小岩井」は創設した3人の名前を1字ずつとって付けられた。日本鉄道会社の小野義真副社長、大財閥・三菱社の岩崎弥之助社長、そして井上勝。鉄道で結びついた3人がなぜ農場をつくることになったのか――。

× ×

1868(明治元)年、5年ぶりに帰国した井上は英国で見た蒸気機関車を日本でも走らせようとしていた。71年、鉄道事業を統括する鉄道頭に。翌年、新橋―横浜間に日本初の鉄道が走る。

約20年後の88(同21)年6月。鉄道局長官に就任していた井上は視察で訪れた岩手県で、当時の石井省一郎知事にこう語ったという。

「自分はこれまで鉄道開発のために多くの美田良(りょう)圃(ほ)をつぶしてしまった。ここにある広大な荒地を開墾し、埋め合わせとして農場を造れないだろうか」

この構想を打ち明けられた岩崎はすぐ出資を約束し、小野は保証人になった。3年後、小岩井農場が誕生した。

× ×

昨年11月上旬のある朝、小岩井農場。「こーい、こーい」。職員の声で牛舎が開くと、牛たちが牧草を求めて走り出した。場内の展示資料館館長、野沢裕美さん(31)が遠くの防風林を指して、「井上が開墾し当時植えられた木もずいぶん残っています」と教えてくれた。

井上は農場にたびたび足を運び、植林を進めた。開設から8年後、事業から手を引いたが農場は成長を続けた。

1938(昭和13)年以来、農場は小岩井農牧株式会社が運営する。今は乳牛約1700頭、羊300頭、鶏6万羽を飼育。子会社はチーズ、バター、牛乳、ヨーグルトなど乳製品約120品目を販売し、02年には約393億円を売り上げた。

「井上が今の成長ぶりを見れば驚くでしょうね」。野沢さんは言った。



井上に鉄道敷設の夢を持たせたロンドンのパディントン駅。今も同じ場所で巨大な駅舎を構える＝ロンドンで

地域情報

列島ニュース一覧

- | | | |
|-----|-----|---|
| 北海道 | 青森 | 森 |
| 岩手 | 宮城 | 城 |
| 秋田 | 山形 | 形 |
| 福島 | 茨城 | 城 |
| 栃木 | 群馬 | 馬 |
| 埼玉 | 千葉 | 葉 |
| 東京 | 多摩 | 摩 |
| 神奈川 | 新潟 | 潟 |
| 富山 | 石川 | 川 |
| 福井 | 山梨 | 梨 |
| 長野 | 山崎 | 崎 |
| 静岡 | 愛知 | 知 |
| 三河 | 滋賀 | 賀 |
| 京浜 | 大阪 | 阪 |
| 和歌山 | 奈良 | 良 |
| 島根 | 岡山 | 山 |
| 広島 | 山口 | 川 |
| 徳島 | 香川 | 知 |
| 愛媛 | 福岡 | 州 |
| 佐賀 | 北九州 | 崎 |
| 熊本 | 長崎 | 分 |
| 宮崎 | 鹿児島 | 島 |
| 沖縄 | 鹿 | 見 |
| | USA | 島 |

新聞購読案内

- データベース案内
- ケータイ向けサービス
- ニュース映像
- 会員サービス
- 朝日新聞社から
- 今日の朝刊

- 山口の天気 [各地の天気]
- ニュース
- 朝日懇話会やまぐち
- 企画特集
- 高校野球
- 読者の広場
- 朝日新聞社のイベント
- 朝日さんさん広場
- 地域の取材網



× ×

井上の生涯を駅弁に凝縮させた人がある。宇部市の宇部全日空ホテル総料理長、中山好美さん(49)だ。「自分も若いころ、外国で料理人になろうと夢見ていた。小さな船で英国まで行った井上の生き方に共感した」

昨年8月、中山さんは10月にJR小郡駅が新山口駅に改称するのに合わせ、新しい駅弁作りを始めた。「井上が敷いたレールの上で英国の味を堪能してほしい」との思いからだ。井上の生地のかきで子孫に会い、東京駅前の銅像に参った。

最終目的地は小岩井農場だった。「文明開化の象徴だった鉄道に満足せず、つぶれた農地を取り戻そうとした視点が素晴らしい」

約2カ月後、駅弁「鉄道伝説」が完成した。山口県産の牛肉やかまぼこ、ミカン、小岩井農場のチーズを使い、サンドイッチやローストビーフを詰めた。ほおぼると、英国から日本に帰って鉄道を走らせ、農場まで開いた井上の思いが、口いっぱい広がる。

11月4日、「鉄道伝説」は新山口駅構内で売り出され、約1時間で50食が完売した。その後も売れ行きは好調だ。

中山さんの夢は続く。

「いつの日か、この弁当を持ってロンドンに行きたい。井上が見たはずのビッグベンの前で、当時の生活を思いながら弁当を開いてみたいんだ」

(1/19)

▲③遠藤謹助／日本人の手で貨幣造る >>

[社会](#) | [スポーツ](#) | [経済](#) | [政治](#) | [国際](#) | [サイエンス](#) | [文化・芸能](#) | [ENGLISH](#) |

ニュースの詳細は朝日新聞へどうぞ。購読の申し込みはインターネットでもできます。

asahi.comに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

[著作権](#) | [リンク](#) | [プライバシー](#) | [広告掲載と注意点](#) | [アサヒコムから](#) | [朝日新聞社から](#) | [問い合わせ](#) |

Copyright 2004 Asahi Shimbun. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.